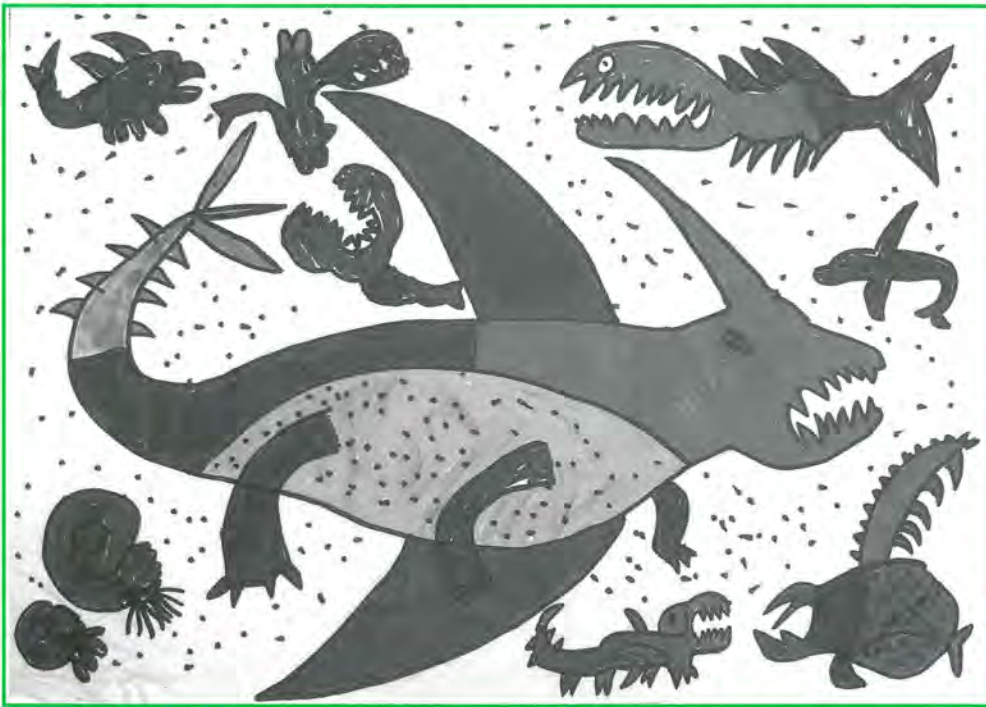


題字 足立区長 近藤 やよい

足立区民生・児童委員協議会だより

発行

足立区民生・児童委員協議会
会長 中田 貢弘
編集 広報部会
発行日 2008年11月1日
〒120-8510
足立区中央本町1-17-1



皿沼小5年 桑原拳人 作

目次

全員研修会	2
アシストとは	3
子育て応援団	4
介護ってなあに	6
成年後見制度	7
自主研修会	8
編集後記	

備えあれば憂いなし

民生・児童委員の皆様におかれましては、地域福祉の増進に向け、日々献身的なご努力をなされていることに対しまして、心から感謝申し上げます。さて首都東京では、直下型地震の切迫性が指摘されており、文部科学省地震調査研究推進本部によりますと、マグニチュード7クラスの地震の発生確率は、今後30年間で70%程度であるとしております。一方東京都では、仮にマグニチュード7.3の首都直下地震が発生した場合、足立区の95%の地域で震度6強の揺れに襲われると想定しています。

私の経験則では、震度6弱と6強の間には被害の規模に大きな違いがあると思っております。6強では家屋の倒壊が発生し死者や負傷者が多く発生し、また避難者のために、小中学校などは避難所となります。昨年の能登半島地震、新潟県中越沖地震、今

危機管理室長 紙谷 衛

年に入ってから岩手・宮城内陸地震では、いずれも最大震度6強を記録し大きな被害が出たのはまだ記憶に新しいところではないでしょうか。

高齢者や障がい者など災害時要援護者の問題も必ずといっていいほどマスコミに取り上げられます。今回、民生・児童委員の皆様をお願いしております「災害時要援護者避難支援プラン」は、事前に地域の助け合いである共助の力をより強固なものとするためにあらかじめ策定しておき、発災時には公助も含めて役立てようとするものです。

大変なお願いで申し訳ありませんが、今後とも安全・安心なまちづくりのために、ご支援とご協力を賜れば幸いです。



全 員 研 修 会



川尻全民児連副会長



くじらい議長



警視庁川上管理官



東京消防庁坪木消防正監

8月20日、西新井文化ホールにて、民生・児童委員全員研修会が開催されました。浅井第六合同会長の司会で始まり、第十三中学校特別支援学級の生徒男女15名による和太鼓の演奏と合唱には会場全員の温かい拍手を頂きました。区歌斉唱後、宮田第三合同会長の信条朗読、宮崎会長職務代理の開会の挨拶、中田連合会長の挨拶と続きました。近藤区長を始めくじらい区議会議長、川尻全民児連副会長より祝辞を頂き、その他大勢の来賓の方々の参加も頂きました。広報紙「さくら」の絵画掲載協力児童4名に感謝状贈呈が行われました。

第2部の講演会は、警視庁交通部管理官 警視川上薫氏の「高齢者の交通事故防止について」都内での死

亡事故の高齢者の割合は33%にもなること、年を取ると自己中心的な考えになるなど興味深いお話を聞かせて頂きました。続いて、東京消防庁第6消防方面本部長 消防正監坪木清一氏の「災害時要援護者支援について」ではスライドの絵と範例を交えながら解りやすく楽しい講演を聞くことができました。

最後に民生委員の歌「花咲く郷土」を全員で斉唱し、有賀福祉部長の閉会挨拶で終わりました。今後は足立区も災害時要援護者支援に力を入れて取り組んで行くとのことです。その時、私達民生・児童委員も力をあわせ協力していかなければならないと実感し、雨の降りしきる中家路を急ぎました。

(15地区 北川富美子 記)

全体会インタビュー



区長から直接表彰状を手渡され、皆さん緊張した様子でした。

仲田帆花さんと中島千恵梨さんは「さくら」に載るとは思わなかったのびびっくりしたとのことでした。

瀬尾文菜さんは、お母さんと妹さんと会場に来てくださいました。そしておばあちゃんおじいちゃんに、この表彰状や写真を見せてあげたいと喜んでいらっしゃいました。

中島千恵梨さんと腰高潤平君は、

お父さんも会場にみえたので、区長から直接手渡されるところを見ていただけました。潤平君は、「図画工作をしている時の集中力がすごい」と話されていました。今回の表彰がきっかけとなり自信をもって、これからはいろいろな分野で活躍してもらいたいものです。

(インタビュアー

広報部員 川島恵美子)

「おはよう訪問事業」について

足立区では社会福祉協議会が主導する重要な施策の一つとして「おはよう訪問事業」があります。昭和62年に施行して今年で21年目になります。1月31日時点で998名の利用者があります。この事業の主旨は近隣に親族がいない独居高齢者に対する安否確認です。毎朝健康飲料を細心の注意をはらう配達員によって無料で配達され、その時に声をかけて、その応答に安否確認をするものです。高齢者にとっては、配達時の声掛けは、非常に心強いものがあるそうです。

私の担当する地域は集合住宅です。集合住宅は普通の街並みと違い各フロア以外の付き合いは少ない環境です。ドア1枚で遮断され、交際の範囲が狭いもの

があります。健康な時には近所あるいは親族との交流もありますが、何かの事情で突然の身体の異変によって、速やかに発見されれば救命につながるし、発見されなければ、寂しい終末の事態となる可能性があります。

私の体験として終末された方、救命された方々を見ております。立ち会った警察官に伺ったところ、孤独死の事案がかなり多い割合であるとのことでした。いつも安否確認の要請がありますと緊張する心境です。

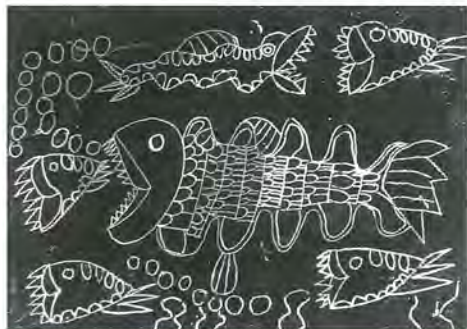
私たち地域を見守る立場として、この事業を利用される方々に対して孤独死をさせないことは民生委員活動の重要な地域情報を密にした事柄として常に頭に入れておかなければならないことです。

(花畑地区 細井力造 記)

前回に続いて、少し詳しく「発達障害」のお話をさせていただきます。

発達障害については、それぞれの立場（医療、教育、福祉等）や視点から、様々な考え方があるため、明確な定義は今のところありません。しかし、一般的には、中枢神経系の高次機能の障害が発達期（18歳未満）に生じ、基本的に非進行性である、と言われていています。現れ方には、①遅れ（知的発達障害）②偏り…認知や行動のアンバランスさが通常の子どもに見られる範囲を超えているもの（注意欠陥・多動性障害）③歪み…通常の子どもには見られない認知や行動を反復する

（自閉症）の3つがあります。『軽度発達障害』は、発達の遅れよりも「偏り」や「歪み」の問題を中心とするもので、「発達障害が軽い」という



上沼田小2年 森田将人 作

意味ではなく、「知的に遅れがない」という意味です。医学の領域では、次の4つに分類しています。①自閉症を中心とする広汎性発達障害の中の高機能広汎性発達障害（高機能自閉症、アスペルガー症候群）②発達のある側面だけが特に障がいされている部分的障がいである学習障害（LD）、発達性言語障害、発達性協調運動障害 ③落ち着きがないなど行動の問題を中心とする注意欠陥・多動性障害（ADHD）、さらに、区別が困難という意味で、④境界線知能（軽度知的発達障害）を含むことがあります。これらはそれぞれ典型的な例もありますが、多くの場合重複していたり、その経過によって状態像が変わっていくことがあります。

診断は医師が行いますが、そのためには行動観察や聞き取りを行い、状態像をつなぎ合わせていきます。ですから、診断には医療、教育（幼稚園・小中学校等）、福祉（保育園・専門機関等）など関係する諸機関の連携が必要なのです。

発達障害の用語は、「日本LD学会 LD・ADHD等関連用語集」からの引用

（足立区障害福祉センター）

吉川英治文化賞受賞の堀田さん その後

3月30日、日暮里・舎人ライナーが開業当日、扇2丁目の町工場でイベントが催されました。「さくら14号」でご紹介致しました吉川英治文化賞受賞の堀田さんの工房で障がい者用自転車の贈呈式が行われました。14号の記事に書かれていた「筑波大学大学院の臨時講師として、設計から加工まで物作りの素晴らしさを学生が体験し……」臨時講師としての指導が実を結び、大学院生の手で6台の自転車が完成し、障がい者施設に寄贈する式典でした。「当施設はさまざまな障がいを持った方が利用しており、自転車には乗ったことがないという方が大半ですが、そのような方々が自転車に乗る喜び、楽しさを満喫している」との寄贈を受けた施設よりの礼状の一部を紹介しました。また、

6台のうち1台はある施設を通して韓国の福祉施設に渡り、利用者に大変喜ばれているようです。

結びになりますが、堀田さんには健康に十分留意され、障がい者の身になっていっそう乗りやすい自転車の開発をお願いし、御社の益々の発展を心よりご祈念申し上げます。

（8地区 田中榮一 記）

つば大学さま
自転車ありがとうございます
たのしいです。
いつものように
ございました。
引越和

寄贈を受けた施設よりの礼状

給食ボランティア 千ぐさ会の活動

私たち千ぐさ会は月2、3回70歳以上を対象にお弁当を作っています。材料費だけで販売し、すべてボランティアの人々の熱意で20年間も続いております。2班に分かれ、120食分作ります。毎回最後に次のお弁当の献立を考え、よりおいしいものを高齢者の皆様にお届けできるよう頑張っています。作られたお弁当はカーボランティアの皆様が分担で各地域を回ってお届



けします。しかし最近では、駐車禁止の問題で車での積み込みや配達が難しくなっています。これからも引き続き検討しながら取り組んでゆきたいと思います。

朝早くから集合し、作る時は大変ですが、皆様のもとへ届けられる時の満足感は何物にも代えがたいものがあります。これからも健康で無理なく民生・児童委員や民生委員OBの方々と仲良く楽しく活動してゆきたいと思

います。（千ぐさ会 鶴間昭子 副会長）

私たちの団体は足立区第14地区少年団体協議会と申します。区内には31の地区少年団体協議会があります。年間の主な行事は、総会、運動会、夏の宿泊活動、ビーチボールバレー大会、子どもワールドなどです。毎年海の日をからめた3日間「那須甲子国立青少年自然の家」をお借りし2泊3日で夏の宿泊活動を行います。

今回は63名の小学生（3年から6年まで）が参加し引率者を含めると100名近い人数になりました。到着後8班に分かれ館内を見学。夕食は野外炊飯、カレーライスを作ります。今年は舞錐式の火おこし器で種火を作り、薪でご飯を炊き野菜も全部子どもたちが調理し、とてもおいしく食べたようでした。その夜は恒例の肝だめしです。役員もこわがるなか、1人ずつ願いごとを書いた紙を持って進みます。あまりにも怖く泣き出す子も……。最後に長老に願いごとを書いた紙を

渡します。2日目は早朝より追跡ハイキング、11のポイントで問題を解きながら進みます。午後は工作、今年のうちわに和紙で切り絵を描きました。夜は最大のイベント、キャンプファイヤーです。大きな炎の周りでフォークダンスや、各班で1つのポーズを作り、何のポーズか当てる「はいポーズ」そしてギターで大合唱。最終日はホールで遊びを楽しみます。疲れ知らずの子どもたちは元気一杯遊びました。その後閉校式を行い那須甲子での3日間の合宿生活を終了しました。

お手伝い下さいました各学校のPTA会長、校長先生、体育指導青少年委員、主任児童委員、その他多くの健全育成に関する皆様のお力を頂き、親睦も深め無事終了することができありがとうございました。

（足立区第14地区少年団体協議会

元井 一壽 会長）

非行化防止キャンペーンコンサート

青少年対策佐野地区委員会主催



6月22日青少年対策佐野地区委員会主催の非行化防止キャンペーンコンサートが中川小学校体育館で行われました。

非行化防止に関する標語を佐野区民事務所管内の小学校5校、中学校3校、児童、生徒から募集した753点の中から区長賞2名、優秀賞17名が選ばれ、表彰されました。また、地域において発表、周知し、非行化防止の呼びかけをします。

表彰式の後、中川小学校金管バンド、葛西ばやし佐野保存会の皆さんによる演奏で、日頃の練習の成果を発揮され生き生きとした楽しいキャンペーンコンサートになりました。

今後とも、学校・家庭・地域が一体となって子ども達を見守り続けていければと思います。

（佐野地区 清水千鶴 記）

私と女子サッカー

足立区サッカー協会女子部

私は、足立区サッカー協会女子部長を拝命していますが、14年前、息子が少年サッカーチームに入団するまでは、サッカーとは全く無縁でした。それが今では、サッカーが生活の一部となり、サッカーのない人生は、ちょっと考えられません。

昨年、足立区で初めての女子中学生のサッカークラブを立ち上げて、東京都のリーグ戦に参戦しました。一緒に練習していると、こ

の子たちが大人になり、母親となった時に、試合での喜び、悔しさ、練習の辛さが、必ず役に立つと信じています。

近年、子どもを取り巻く環境は、ますます厳しくなっています。でも、グラウンドに行けば、がんばっている子どもたちとそれを見守る大人たちがいます。「まだまだ大丈夫」とつぶやかせてくれる光景です。

（9地区 秋本雅信 記）



民生委員制度創設90周年記念事業スローガン

広げよう 地域に根ざした 思いやり

子育て応援団 子育てサロン のびのび親子広場キューピット

昔のように近隣の助け合いがない現代、育児不安からの解放のため親子が気軽に参加し、遊んだり、おしゃべりしたり、子育ての情報を交換する場所が必要ではないかと考えていました。丁度、地域の小学校が統廃合され、校舎が使用出来たので、平成15年4月より足立区社会福祉協議会ファミリーサポートセンター提供会員数名と地域の子育てに関心のある方、子育て中の親子が集い立ち上げました。活動の目的・対象・日時・内容を話し合い、第1回の開始が平成15年6月5日となり、現在も毎月第1、第3木曜日、午前10時から12時まで活動しています。

子どもを持つ親子が集う場、誰でも気軽に無理なく、

楽しく、自由に明るく無条件に受け入れてくれる雰囲気のあることが参加者にとって何より心の支えになる居場所と呼びかけています。



(14地区 川島和子 記)

主任児童委員会

6月17日に、今年のテーマである「児童生徒の不登



校を防ぐには」にそって江東区千石にある、都立大江戸高校を訪問しました。ここは、小・中学校時代に不登校を経験した生徒や高校を中退した生徒を含め、多様な生徒が学校生活を通じて自分の目標を見つけ、それに向かってチャレンジする学校です。自分にあった時間帯に（午前・午後・夜間の3部制）、自分にあったペースで（単位制）、自分にあった多様な授業（総合学科）を学習できる学校です。担当地域に、不登校の生徒がいて進路で悩んでいる時には、ぜひ紹介してあげたいと思っています。

(主任児童委員会会長 小泉貞廣 記)

都立大江戸高校を訪問

宇都宮市の民生委員・高齢者部会代表・会長・懇談会

9月9日、宇都宮市高齢福祉部会（総勢30名）の皆様が来庁されました。足立区側の出席者は連合会長を始め約40名。会議の冒頭、8月20日に行われた全員研修会の様子をケーブルテレビ足立で放映されたビデオテープを視聴。足立区、宇都宮市の代表者の挨拶や講演などと続き、6班に分かれて「高齢者の見守り」についての懇談をしました。

懇談内容は1班「宇都宮で高齢者の取り組みとして、ネットワーク作り、一人暮らしの訪問調査、足立区ではあんしんネットワークについての話し合い」。2班「宇都宮と足立区の人口、民生委員の数、高齢者の数などの比較について、足立区では20年度より要援護者の調査など」。3班「親子の問題、問題が発生した時は包括支援センターに相談する。宇都宮では一人の民生委員で約200世帯を受け持つ」。4班「宇都宮では高齢者を対象に月1回食事会を実施し、時には小学生も参加し、老若男女で楽しい食事会になっている。自己紹介の時、宇都宮の皆様は素晴らしい郷土愛を持っていると聞き感動をおぼえた。足立には『このまち、一番！ここあだち』という素晴らしい標語があることを紹介しました。どちらも地域を愛し、心のやさしい民生委員であるからこそお世話ができると話し合いました。



5班「民生委員としての職務範囲についてや災害時のネットワークについて話し合い」。6班「双方の違いについて足立区では都営住宅が多く高齢化が進み、どのようにバックアップしていくのか、宇都宮では最近集合住宅が乱立し、若い人が多くそこに高齢者が同居しているのか調査したくても自治会に入会せず、訪問してもドアを開けてくれないので、状況が解らない悩みがある」。その他多数の意見がありましたが紙面の都合で割愛しました。

最後に足立区長の挨拶がありました。時間が足りなかったのは残念でしたが大変有意義な懇談会でした。

(8地区 田中榮一 記)

足立区は活動記録提出100%継続中です

介護ってなまに 歯なしのはなし

81歳で亡くなった私の父親は、鬼怒川の清流のすぐそばで生まれ、子どもの頃から小魚を食べて育ちました。そのせいか虫歯が1本もないのですが、歯磨きを怠っていたため、定年退職と共に重症の歯周病でほとんどの歯を抜き、入れ歯となりました。同時に心臓肥大が発覚し冠動脈のバイパス手術を受け、その後、慢性腎不全による人工透析を週に3回行うようになりました。

近年の医療学会において、心臓のバイパス手術を行って切り取った血管を顕微鏡で観察した結果、冠動脈に詰まっていた菌の多くは歯周病菌であったことが判明したと発表されました。歯周病の菌や大きな虫歯の根元にたまった病巣の菌は、体の血管やリンパ管な



どを通して、眼、心臓、気管支、リュウマチ、腎臓、泌尿器などに大きな疾患を引き起こします。また、口の中が汚れていると、むせたりした時に歯垢中の菌を空気と一緒に吸い込んで肺炎を引き起こしたりすることもあります。高齢者の肺炎の多くはこの誤嚥性の肺炎です。

いつまでも元気で生活するためには、正しく歯を磨き、虫歯は少しでも早く治療をし、歯肉からの出血や口臭があるような時も迷わず専門の治療を受けることをおすすめいたします。

(日介センター足立東支店長

山田京子 歯科衛生士)

大谷田の成仁医院(介護老人保健施設)を訪問して

認知症の場合“グループホーム”というのが一般的ですが、老人保健施設で認知症専門という所があるそうです。今回大谷田にある成仁医院介護老人保健施設を訪問しました。

ここは、大規模ではありませんが3階建ての目の行届く整った施設でした。デイサービス、長期宿泊(3カ月まで)があり、まだ空きがあるそうです。足立区民優先ですが他区との相互協力により、お引き受けす

ることもあるそうです。伺った時は職員の指導のもと、利用者の方々は東京音頭を踊っていらっしゃいました。

私たちが立ってお話を伺っていると「座りなさい」と声をかけてくださる方もいらっしゃいました。家族にとってもご本人にとっても、とてもここち良い居場所であると感じました。

(10地区 川島恵美子 記)



舎人小5年 佐藤 葵 作

さあ、出番です!

銭太鼓 (おとめ 老留会)



13地区八木会長をはじめとする有志十数名は、数年前より「銭太鼓」の稽古を重ね、地域の学校の催し、施設の慰問を行っています。

今回、7月27日に伺ったのは、特別養護老人ホーム

「ハピネスあだち夏祭り」でした。当日は、施設内において郷土料理の青森のせんべい汁をはじめ、焼そば、かき氷の屋台など多数ありました。いくつかのゲームコーナーも設けられていました。ホールなどでは、和太鼓、フラダンスなどの余興が披露されました。職員、入所者の家族会、ボランティアの方々の協力もあって、大いに賑わっていました。

私たち「老留(おとめ)会」は、この夏の祭りで2回目の公演でした。実演の難しさは練習どおりにはなかなかいかないものです。音響、演目手順に多少の変更などで、少々の戸惑いもあり充分な“実力”が発揮できませんでした。しかし、演技の間には、お客様の合いの手やかけ声が入り、多くの温かい拍手をいただきました。(13地区 坂井潤子 記)

民生委員制度創設90周年記念事業スローガン

広げよう 地域に根ざした 思いやり



成年後見制度を利用する場合に重要な役割を果たすのが後見人です。後見人の約8割は親族等が担いますが、それ以外は弁護士、司法書士、社会福祉士などの専門職が後見人となっています。しかし、現状ではその専門職の数は圧倒的に不足しています。後見人になってくれる人を見つけれないからこの制度が使えないというのでは問題です。



鹿浜西小1年 上村俊也 作

後見人になってくれる人を見つけれないからこの制度が使えないというのでは問題です。

そこで、東京都は平成17年度よ

り後見人の仕事に意欲をもつ都民を対象に、新たな後見人を養成しています。親族や専門職に次ぐ第三の後見人を「社会貢献型後見人」として現在約180名が養成され、うち12名は社会貢献型後見人として家庭裁判所から選ばれ活躍しています（平成20年6月現在）。足立区におきましても、社会貢献型後見人を活用する体制が整備されました。

今後も高齢化が進む中で、この成年後見制度の利用は益々増加することが予想されます。権利擁護センターあだちは、今後も制度の普及に積極的に取り組んでまいります。制度に関するお問合せやご相談は、お気軽に当センターまでお寄せください。

(権利擁護センター アルマルカウイ 恵子 課長)

体の不自由な方々にも、自由に旅行を

車椅子なので、旅行や列車を使っての遠出は出来ないとお思いの方、ある会の旅行で東武梅島駅から、浜松の館山寺温泉へ2泊の旅行に1人で行って楽しんでこられた方がいらっしゃいます。あなたにも出来ます。旅行を楽しんでみてはいかがでしょうか。

それではその方法は、前もってJR新幹線の東京駅車椅子専用ダイヤルJR東海（3285-0319）に出発日時を伝え、切符の手配、車椅子の要否、付き添いの人のいる・いないを言います。駅の担当のOKを取りつけてから、当日最寄りの駅（例えば梅島駅）の窓口で行先を伝えてお願いします。あとは全ておまかせで、最終駅の出口まで、駅員さんが押して

くれます。

帰りも同じように、行く時に、スケジュールを伝えて、切符の手配も済ませておきます（実際には、もう少し細かいことが必要なので電話でお願いした時に伺ってください。または駅の改札口にお問い合わせください）。補完的には、基幹地域包括センター（5681-3373）にお問い合わせください。

(11地区 渡辺敏章 記)

鉄道の介護活動について



新しくお世話になります

民生係 田中幸一郎

入区した平成9年から4年間ケースワーカーをしていましたが、それ以来、久しぶりの福祉の仕事です。人との「縁」を大切に一所懸命頑張ります。よろしく申し上げます。

(4月1日付転入)

足立区第十四中学校

- | | | | | | | |
|---------|-------|----------|--------|-------|---------|---------|
| 祖母とまぐ | 打ち水涼し | 心あいの | 初もうで | 冬休み | 制服モ | 蝉たすき |
| 三年 丸山大輔 | 打ち水涼し | ひびくし呼んでる | 神様とうぶん | 習字の練習 | タンスの中で | 秘密あげる |
| | 心やわらう | 田舎道 | いそがしい | 偽を書く | 夏休み | 金メダル |
| | | 松井夏樹 | 藤川莉緒 | 角田誠矢 | 一年 珠村桃代 | 一年 郡司実紅 |

中学生俳句コーナー

常東地区自主研修（識見の向上をテーマに）



4月17日、常東地区委員は識見向上をテーマに自主研修を開催いたしました。

最初の見学地は皇居です。徳川幕府の居城でしたが1868年（明治元年）皇居とされ、京都より天皇陛下がお移りになり現在にいたっております。桔梗門で入居手続きを済まし、窓明館において皇居の概要をビデオで研修します。宮内庁のガイドにより大日本帝国憲法

下に於ける天皇の最高諮問機関だった元枢密院（現在の国会議事堂の原型）を過ぎると、1659年（万治2年）に建立された富士見櫓が迎えてくれます。

どこから見ても同じ形に見えるため、別名八方正面の櫓と呼ばれ優美な曲線を描く石垣が印象的でした。間もなく宮殿東庭に着きます。新年と天皇誕生日に一般参賀が行われる長和殿を観ると入母屋作りの大屋根と柱・梁で構成された日本古来の荘厳建築の優雅さが観る者の歩みを止めます。

橋が木造であった頃、濠が深かったため橋桁を二重に組んだことから二重橋と言われた橋跡でしばし休憩の後、1968年（昭和43年）まで仮宮殿として使われ、今は宮内庁庁舎である建物を眺めながら山下通りを下ると、夏期には大輪の蓮の花が見られる蓮池濠、ここより出発地点に戻り2.2kmの見学は終了です。

（常東地区 中根 昇 記）

みんせいがわらばん

千住仲町会 「減災街づくりの取り組み」

千住仲町会「減災まちづくりの取り組み」区民消防隊の誕生と活動状況

平成15年5月、募集隊員15名と地域の民生委員で立ち上げ、区災害対策課の協力を得て、格納庫の設置及び軽可搬小型消防ポンプ、簡易消化器、救助用具等の提供を受けました。我々の目的は震災等による火災の発生時、消防署の活動範囲を地域力でカバーしよう、と千住消防署及び消防団の指導のもとで、初期消火の訓練を毎月1回実施しています。

また、区の総合防災訓練等に積極的に参加し、団結を深めています。なお、区より提供されている消火器

も地域に77本常備しています。当町会では今後100本常備を目標にしております。

- ①活動の継続
- ②人（特に若い人）の確保
- ③ハード面のまちづくり



（千住仲町会事務局）

民生委員・児童委員発

災害時一人も見逃さない運動

編集後記

猿の社会では、子どもが死んでもすぐ捨てず、50日も形がなくなるまで抱いているとのこと。

親としての愛情を感じさせられます。昨今の事件で猿知恵にも劣る社会になってしまったのかと嘆かすには、いられません。しかしそのような時でも町の片隅

には、ほっとする話題が沢山あります。そのような所に光をあて、“幸せには鈍感、不幸せには敏感”の悩める社会に栄養を送り込みたいと、日々さくらの原稿集めをしています。

（10地区 川島恵美子 記）

計報 第四合同9地区（前広報部員） 角田千恵子 殿 謹んでご冥福をお祈りいたします

小学生掲載絵画および中学生詩歌、俳句の依頼は、
第一合同から第七合同の小・中学校に順番にお願いしております。

■皆様の原稿を募集いたします（原稿は未発表のものに限ります）。次号発行予定日 平成20年3月1日
原稿に関しては紙面の都合がございます。事前に地区広報委員にご相談ください。

広報部会	部会長	会計	校正委員長	池田信江	楠美順二	北村信也	大久保義子	秋本雅信
	高野 季	川島恵美子	田中 榮一	杉浦幸子	阿部美代子	校正委員	大城 忠男	江川せつ子
	副部会長	編集委員長	編集委員	森 春枝	山下節子	下田尚保	清水千鶴	江川富美子
	宮本勝男	細井力造	北嶋昭夫	渡辺照美	石鍋昭男	河邊セツ	加藤喜代子	鈴木重子